

『今』を見つめ直す。

tsuna87

始めに

この本では、私が普段考えている世の中への疑問や課題について、述べています。

読んで頂けるあなたと

一緒に考えて行きたいと思っています。

疑問を投げかけたり、考えを述べて行きます。

読んでいる間、少しでいいので、一緒に考えて下さい。

そして、何かこれからのヒントにして下さい。

目次

はじめに

目次

第1章 生き甲斐が仕事に

- 1 あなたにとって、社会貢献とは？
- 2 あなたの夢は、何ですか？
- 3 何のために、働きますか？
- 4 キーワードは『共感』
- 5 『働く』ことは『傍（はた）』を『楽（らく）』にすること

第2章 私の価値観

- 1 傍を楽にする、働き方
- 2 今の私に出来ること

終わりに

あなたにとって社会貢献とは？

世の中には、私達が想像しきれない程、多くの物事で溢れています。

まだ見ぬ世界の絶景

めまぐるしいスピードで進む技術

次々と産まれる、便利で革新的なアイテム

水不足

貧困

飢餓

戦争

有る人にとっては、希望であることも

有る人にとっては、憂いであるかもしれない。

様々な価値観が共存する世界で、

自分の居場所や生き甲斐を求め、

日々生活しています。

正直私には、

その日生きる食料が無い生活や、

水が飲めない生活、

毎日生きる事に必死な生活はとても想像しきれません。

私達が、当たり前で生活している今ですら、

『生きる。』

ただそのことを

本気で望む人がいることも、事実です。

社会貢献をしよう！と言っているわけではありません。

価値観は人それぞれだと思います。

ただ、少しだけ、

身近にある問題点に気付き

疑問を抱き

本質を見極める。

そして、自分に出来ることを考える。

そんな時間をとってみてください。

そして、少しだけ

あなたにとって、社会貢献とは、なにか??

考えてみてください。

あなたの夢は何ですか？

池間哲郎さんという方をご存知でしょうか？

世界の貧困問題に取り組む実業家で、世界の子供達のために、学校を立てる、井戸を提供する。などの多くの活動をされて方です。

その方の本を読みながら、私が響いたエピソードがあるので紹介させていただきます。

池間さんがカンボジアの学校に行った時の話です。

ある1人の女性に

『あなたの夢は何ですか？』

と訪ねると、その女性は

『私の夢は、大人になるまで生きることです。』

と答えたそうです。

このエピソードを聞いた時、私は衝撃を受けました。

私にとっての『夢』とは、希望を語るものでありました。

『将来こんな人になりたいんだ。』

『成長して、こんな人物になりたいんだ。』

思い描く、人物像や夢を語ることに普通に思っていました。

ましてやそこに、

生きる。

という選択肢は、当たり前すぎて入っていませんでした。

しかし、世界には、私が当たり前と思っている事を、切実に望んでいる人がいる。

そのことに気付いた時、私は、自分の価値観の小ささを感じました。

あなたの夢はなんですか？

今一度、問いかけてみて下さい。

何のために働きますか？

ある日友人から

『NPOを作りたい。協力して欲しい。』

と話を持ちかけられました。

詳しく話を聞くと

『学校にいけず、自分の居場所を見いだせず、困っている子供がいる。』

『最終的に、自殺という自らの命を自ら断ってしまう選択をする子供がいる。』

『未来のある子供達が自ら命を断ってしまう現実を、私は何とかしたい。』

『子供達に、未来の可能性を示してあげたい。』

『困っている子供がいるのなら、力になってあげたい。』

『子供達の笑顔を守れるような、NPOを作りたい。』

その想いを熱く、語ってもらいました。

それまでの私には、無かった選択でした。

問題意識を持つ必要があるなと感じました。

全ての物が揃っている日本だからこそ、

問題点も陰を潜め

人々の目は自分の目先の利益に向けられ

本当に困っている人達が目立たなくなっています。

今一度考えてみて下さい。

『何のために働くのか？』

『何のために、お金がほしいのか？』

自分のためですか？誰かのためですか？

それは、自分の利益ですか？周りの人の利益ですか？

何のために？

誰のために？

本気で考えれば、

多くのことが見えてくると思います。

そして、

今、あなたの行っている全ての活動のモチベーションとなり、

全ての物事が良い方向へ繋がると思います。

キーワードは『共感』

インターネットが発達し、

世界中にいる多くの方と、情報が共有出来るようになり、繋がれる世の中になりました。

これからの時代に必要なことは、自分に共感してもらう人をどれだけ多く集められるか？だと思います。

多くの方に共感してもらうためには、それだけの『理念』が必要です。

企業に関して言えば、

どのような社会貢献をしているか？

が、共感を得るための一つの戦略となりました。

ミネラルウォーターの業界を例に出すと

Volvic : 『1ℓ for 10ℓ』

いろはす : 『地球環境に優しいペットボトル』

など、社会にどのような形で貢献しているかを示す事で、共感を集めようとしています。

水不足に悩んでいる国へ、貢献したいと思っている人は、Volvicにするでしょうし、

環境問題に興味のある人なら、いろはすを買うでしょう。

個人でも同じだと思います。

自分の利益のためだけに動いている人に共感は集まりません。

問題意識気付き、それを解決するための『アイデア』

目先の利益でなく、誰かのために動ける『優しい心と素直さ』

そして共感を集めるために必要なのが

『あなたのやることは、何のためにですか？誰のためにですか？』

という問いに、明確に答えられる『理念』であると思います。

これらを持った人に、人が集まり

多くの人々の共感と協力が得られれば、無限の可能性が広がります。

求められるのは、自分らしさです。

もし、何かやりたいことがあるのなら、

『共感』をキーワードに

考えてみて下さい。

『働く』ことは、『傍（はた）』を『楽（らく）』にすること

今までの『働く』とは、文字通り『人』が『動く』ことでした。

しかし、生き甲斐や、やり甲斐を仕事に求めるようになり、

人々が必要としているのは、

『傍』つまり、自分以外の他人を

『楽』にすること。

この志を持ち、繋がりを大切にしている人が社会で生き残っていくと思います。

『働く』ことの目的が『傍楽』となっていくでしょう。

現に、最近増えて来ている

NPOや社団法人などの非営利団体は『傍楽』を目的にしていると思います。

世の中の困っている人を見つけ出し、

問題を解決するために活動しています。

仕事は必要性がある所に産まれます。

世の中が『傍楽』ことを求め出せば、

それを実現できる所に人が集まります。

例を出すと

アメリカやイギリスでは、就職人気ランキングの上位にNPO法人が入っていることが当たり前となっています。

多くの方が『傍楽』のために『働ける』環境を求めだしている証拠であると思います。

日本にそういった環境が浸透するには、時間がかかりますが

仕事に『やり甲斐』や『生き甲斐』を求める若者が増えているのも事実です。

今のあなたの環境で、誰を楽にできるのか？

『傍楽』のためにどのような『働き方』が出来るのか？

考えてみて下さい。

私の価値観

考えて頂きたいことを投げてきましたが、

少し、私の価値観をお話していこうと思います。

共感して頂けることがあれば、幸いです。

受け入れる

自分を変えようと思い

新しいことに挑戦し始めた時に、

要求されることが多すぎて、

時間に追われ、

何から手を付けていいか分からなくなる時があると思います。

何もしていなかった時の方が楽で、

楽な方に向かいそうになることもあると思います。

私はそんな時、

『これは、これで、自分らしいな。』と受け入れるようにしています。

楽をしたい気持ちが出てくるのも当たり前。

何かに流されるのも、人間らしい。

そんな自分を素直に受け入れれば、

以外と気持ちがすっきりします。

そして、

『今、出来ることを、一つ一つこなしていく。』

それしか、方法は無いと思っています。

将来のことを考えるあまり、

今を疎かしてはいけませんし、

今に必死になるあまり、

先が見えなくなっても楽しくありません。

まずは、出来ることを、一つずつ、誠実に真面目に取り組み、

日々、一步一步前進することを大切にしたいと思います。

人に優しく

同じ目標のはずなのに、

価値観が合わない。

『何で動いてくれないんだろう。』

『どうしたら、やってくれるのだろう。』

そんなことに悩んでいませんか？

色々な人の価値観が集まるから面白い。

価値観が違えば、

進む速度も方向も変わってきます。

それを受け入れていれば、

人に優しくなれると思います。

誰かと一緒に、仕事をするには、

この『優しさ』がとても大切です。

周りとの価値観の違いを受け入れ、

その人が何を必要としているのか真剣に考えてみる。

自分に着いて来てくれることに感謝し、

今、自分に出来ることを精一杯頑張る。

人の心を無理矢理動かすことは出来ませんよね。

だったら、価値観の違いを受け入れましょう。

受け入れた上で、

その人と出来ることは、何なのか？を考えてみましょう。

人と心を通わすは、とても大変で根気がいります。

優しさを持つことを第一歩にしてみてください。

終わりに

今の私に出来ること。

それは、

『今を精一杯生きること。』

です。

『精一杯生きる』とは、

自分に与えられた課題と役割を認識し

最高の価値を提供するために考え続け、

私に関わってくれる人々に感謝し、

周りを受け入れ、

優しさを持ち続けながら

今、出来ることを一つ一つこなして行く。

これに尽きると思っています。

『未来』は『今』の積み重ねです。

『今』を疎かにしている人に、

理想の未来は訪れません。

今、自分に出来ることは何なのか??

最後に問いかけて見て下さい。